5.5

図 5.2 に示す各リレー特性について、 \mathcal{L}_{∞} と \mathcal{L}_{2} の安定性を調べよ。

図 (a),(b),(d) について、

$$|y| \le k|u| \;,\; \forall u \tag{1}$$

を満たす正の定数 k が存在する (図参照)。そのため、有限ゲイン \mathcal{L}_{∞} 安定である。また、

$$|y|^2 \le k^2 |u|^2 \ , \ \forall u \tag{2}$$

を満たす正の定数 k が存在するため、有限ゲイン \mathcal{L}_2 安定である。

図(c)について、出力が有界であるため、

$$|y| \le k|u| + \beta \;,\; \forall u \tag{3}$$

を満たす正の定数 k,β が存在する (図参照)。そのため、有限ゲイン \mathcal{L}_{∞} 安定である。しかし、入力 $u(t)=e^{-t}$ に対する出力 y(t)=a , a>0 を考えると、 $\|y\|_{\mathcal{L}_2}$ は有限ではないのに対し、 $\|u\|_{\mathcal{L}_2}$ は有限となるため、 \mathcal{L}_2 安定でない。

5.21

図 5.1 に示すフィードバック接続を考える。 (u_1,u_2) から (y_1,y_2) への写像が有限ゲイン $\mathcal L$ 安定であるとき、かつその時に限り、 (u_1,u_2) から (e_1,e_2) への写像が有限ゲイン $\mathcal L$ 安定であることを示せ。

 (u_1, u_2) から (y_1, y_2) への写像が有限ゲイン \mathcal{L} 安定であるとき、

$$||y_{1\tau}||_{\mathcal{L}} \le \gamma_{u11} ||u_{1\tau}||_{\mathcal{L}} + \gamma_{u12} ||u_{2\tau}||_{\mathcal{L}} + \beta_{u1}, \ \forall u_1, u_2, \tau \in [0, \infty)$$

$$\tag{4}$$

$$||y_{2\tau}||_{\mathcal{L}} \le \gamma_{u21} ||u_{1\tau}||_{\mathcal{L}} + \gamma_{u22} ||u_{2\tau}||_{\mathcal{L}} + \beta_{u2}, \ \forall u_1, u_2, \tau \in [0, \infty)$$
(5)

が成り立つ。ここで、

$$e_1 = u_1 - y_2$$
$$|e_1| \le |u_1| + |y_2|$$

であるため、

$$\begin{aligned} \|e_{1\tau}\|_{\mathcal{L}} &\leq \|u_{1\tau}\|_{\mathcal{L}} + \|y_{2\tau}\|_{\mathcal{L}} \\ &\leq (1+\gamma_{y21})\|u_{1\tau}\|_{\mathcal{L}} + \gamma_{y22}\|u_{2\tau}\|_{\mathcal{L}} + \beta_{y2} , \ \forall u_1, u_2, \tau \in [0, \infty) \end{aligned}$$

また、

$$e_2 = u_2 + y_1$$
$$|e_2| \le |u_2| + |y_1|$$

であるため、

$$\begin{split} \|e_{2\tau}\|_{\mathcal{L}} &\leq \|u_{2\tau}\|_{\mathcal{L}} + \|y_{1\tau}\|_{\mathcal{L}} \\ &\leq \gamma_{y21} \|u_{1\tau}\|_{\mathcal{L}} + (1+\gamma_{y22}) \|u_{2\tau}\|_{\mathcal{L}} + \beta_{y2} \;,\; \forall u_1, u_2, \tau \in [0, \infty) \end{split}$$

よって、 (u_1, u_2) から (e_1, e_2) への写像が有限ゲイン \mathcal{L} 安定である。

 (u_1, u_2) から (e_1, e_2) への写像が有限ゲイン \mathcal{L} 安定であるとき、

$$||e_{1\tau}||_{\mathcal{L}} \le \gamma_{e11} ||u_{1\tau}||_{\mathcal{L}} + \gamma_{e12} ||u_{2\tau}||_{\mathcal{L}} + \beta_{e1} , \forall u_1, u_2, \tau \in [0, \infty)$$
(6)

$$||e_{2\tau}||_{\mathcal{L}} \le \gamma_{e21} ||u_{1\tau}||_{\mathcal{L}} + \gamma_{e22} ||u_{2\tau}||_{\mathcal{L}} + \beta_{e2} , \forall u_1, u_2, \tau \in [0, \infty)$$
(7)

が成り立つ。ここで、

$$y_1 = e_2 - u_2$$
$$|y_1| \le |e_2| + |u_2|$$

であるため、

$$||y_{1\tau}||_{\mathcal{L}} \leq ||e_{2\tau}||_{\mathcal{L}} + ||u_{2\tau}||_{\mathcal{L}}$$

$$\leq \gamma_{e21}||u_{1\tau}||_{\mathcal{L}} + (1 + \gamma_{e22})||u_{2\tau}||_{\mathcal{L}} + \beta_{e2}, \ \forall u_1, u_2, \tau \in [0, \infty)$$

また、

$$y_2 = u_1 - e_1$$
$$|y_2| \le |u_1| + |e_1|$$

であるため、

$$||y_{2\tau}||_{\mathcal{L}} \leq ||u_{1\tau}||_{\mathcal{L}} + ||e_{1\tau}||_{\mathcal{L}}$$
$$leq(1+\gamma_{e11})||u_{1\tau}||_{\mathcal{L}} + \gamma_{e12}||u_{2\tau}||_{\mathcal{L}} + \beta_{e1}, \ \forall u_1, u_2, \tau \in [0, \infty)$$

よって、 (u_1,u_2) から (y_1,y_2) への写像が有限ゲイン \mathcal{L} 安定である。